

「ノボザイムズ ジャパン バイオテクノロジーフォーラム 2020」のご案内

ノボザイムズ ジャパン(株)では、日本の独創的・萌芽的な酵素・微生物研究の振興を目的とし、1992年より若手の研究者を対象に研究助成を行っています。この助成対象者の成果発表の場として、また、国内外の最新のバイオテクノロジー情報を発信する場として、「[ノボザイムズ ジャパンバイオテクノロジーフォーラム 2020](#)」を偶数年に開催しております。今年は新型コロナウイルスによる影響のため11月6日にオンラインで開催することとなりました。各講演は11月16日から録画によりご視聴(無料)いただけます。

ご希望の方は下記申込フォームに必要事項をご入力の上、ご視聴ください。

[バイオテクノロジーフォーラム 2020 録画視聴申込フォーム](#)

(公開期間:11月16日-12月25日)

プログラム:

2020年度ファンドプロジェクト受賞講演

白麹菌 *Aspergillus luchuensis* mut. *kawachii* における推定有機酸輸送体の機能解析

二神 泰基(鹿児島大学農学部食料生命科学科准教授)

酵素の可逆的な集合体形成を可能とする新規シグナルペプチドの開発

—微生物生産のさらなる効率化への貢献を目指して

三浦 夏子(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科助教)

好熱性酵素を用いたコエンザイム A の in vitro 生産

本田 孝祐(大阪大学生物工学国際交流センター教授)

報告講演

—塩基編集技術による酵素生産糸状菌の開発

中西 貴士(ノボザイムズ ジャパン(株)研究開発部門)

Kalundborg Symbiosis and its contribution to Novozymes sustainability

Jes Bo Tobiassen (Vice chairman of Kalundborg Symbiosis center, Director of Global Health, Safety & Environment, Novozymes A/S)

予定しておりました本講演は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により次回シンポジウムへ延期させていただくこととなりました。その際は改めてご案内申し上げます。

特別講演

ゲノム編集技術の基本原則と応用

山本 卓(広島大学大学院統合生命科学研究科教授)

【連絡先】ノボザイムズ ジャパン(株)研究開発部門 研究ファンド事務局

E-mail: mmb@novozymes.com, cino@novozymes.com

<https://www.novozymes.com/japan>